

令和3年度 「現代社会」 シラバス

校長 山城 聡 印

教頭 中村 幸弘 印

公民科「現代社会」シラバス	単位数	2単位
	学年・学級	1学年全クラス(1~5組)

1. 学習の到達目標など

学習の到達目標	1. 現代社会を批判的にとらえることによって、主体的に考え、判断する力養い、生きる力を養う。 2. 人格の完成を目指し、平和的な国家および社会の形成者として、心理と正義を愛し、個人の価値を尊ぶ自主的精神を育てる。
使用教科書	「高等学校 改定版 新現代社会」(第一学習社)

2. 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画

学期	主な単元	主な学習内容
1学期	第1編 現代に生きる私たちの課題	1. 環境と私たちの生活 2. 資源・エネルギー問題と私たちの生活 中間考査 期末考査
2学期	第2編 現代の社会と人間としてのあり方生き方	第1章 現代社会の特質と社会生活の変化 第2章 現代に生きる青年 第3章 現代の経済社会と私たちの生活 第4章 国際経済の動向と日本の役割 中間考査 期末考査
3学期		第5章 現代の民主政治と私たちの生活 第6章 国際政治の動向と日本の役割 第7章 民主社会の倫理 中間考査 期末考査

### 3. 確かな学力をつけるためのアドバイス

1. 学習したことについて、単に知識として記憶するのではなく、自信に結ぶつけて考えることが大切です。
2. 疑問に思ったこと、興味・関心を持ったことがあれば、質問したり、調べたりする姿勢が大切です。
3. ノートやプリントは板書を写すのではなく、疑問や考えを記入して、学習過程が把握できるようにしましょう。

### 4. 授業を受けるにあたって守って欲しいこと

1. 授業の開始時刻には、必要な教材・教具を準備して着席するなど、基本的なマナーを守りましょう。
2. 具体的な授業の内容については、描く学期に説明があります。良く聞いて授業に取り組んでください。

### 5. 評価の観点・内容及び評価方法

評 価 の 観 点 ・ 内 容		評 価 方 法
関 心 意 欲 態 度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心が高まっているか。</li> <li>2. 主体的、意欲的に課題を追求しようとしているか。</li> <li>3. 社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的な態度を身につけ、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方について自覚を深めようとしているか。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> 学習活動への取り組みの様子  <input type="checkbox"/> 授業プリントの提出状況
思 考 判 断	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会の基本的な問題と人間に関わる事柄から課題を見いだしているのか。</li> <li>2. 社会事象の本質や人間としての在り方・生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方をふまえ公正に判断しているのか。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> レポートの内容 <input type="checkbox"/> 定期考査
資 料 活 動 の 技 能 ・ 表 現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の基本問題と人間に関わる事項に関する諸資料を様々なメディアを通して収集しているか。</li> <li>2. 学習に役立つ情報を主体的に選択し活用して、学び方を身につけているか。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> 課題学習の発表 <input type="checkbox"/> レポートの内容 <input type="checkbox"/> 定期考査
知 識 理 解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会の基本的な問題と人間としての在り方・生き方に関わる事項や学び方を理解し、その知識を身につけているか。</li> <li>2. 現代社会で生起する問題が複合的な要因で生じていることを理解しているか。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 練習問題 <input type="checkbox"/> 授業プリント

令和3年度 「地理A」シラバス

校長 山城 聡 印

教頭 中村 幸弘 印

地理歴史科「地理A」シラバス	単位数	2単位
	学年・学級	2学年全クラス(1~5組)

1. 学習の到達目標など

学習の到達目標	1. 現代の世界や生活圏の諸課題の地理的考察に重点を置いて学習する。 2. 地図の読図・描図や地域調査など、作業的、体験的な学習を通して身につけた地理的スキルを活用し、地理的な見方や考え方を身につける。 3. 事例を通して地理的事象を見だし、それを基に課題を設定し追求する。
使用教科書	「高校生の地理A」(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)

2. 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画

学期	主な単元	主な学習内容
1 学 期	第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題	1章. 旅からとらえる現代世界 2章. 世界の自然環境と文化 1節 地形 2節 気候 3節 文化 中間検査 期末検査
2 学 期		3章. 世界の諸地域の生活・文化 1節 中国 2節 韓国 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカ 6節 サハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア 中間検査 期末検査
3 学 期	第2部 身近な地域の課題	4章. 地球規模で広がる課題  1章. 身近にあるさまざまな地図 2章. 日本の自然環境と防災 3章. 身近な地域の課題と地域調査 中間検査 期末検査

### 3. 確かな学力をつけるためのアドバイス

1. 学習したことについて、単に知識として記憶するのではなく、自身に結ぶつけて考えることが大切です。
2. 疑問に思ったこと、興味・関心を持ったことがあれば、質問したり、調べたりする姿勢が大切です。
3. ノートやプリントは板書を写すのではなく、疑問や考えを記入して、学習過程が把握できるようにしましょう。

### 4. 授業を受けるにあたって守って欲しいこと

1. 授業の開始時刻には、必要な教材・教具を準備して着席するなど、基本的なマナーを守りましょう。
2. 具体的な授業の内容については、各学期に説明があります。良く聞いて授業に取り組んでください。

### 5. 評価の観点・内容及び評価方法

評 価 の 観 点 ・ 内 容		評 価 方 法
関 心 意 欲 態 度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	○学習活動への取り組みの様子 ○授業プリントの提出状況
思 考	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	○レポートの内容 ○定期考査
資 料 活 動 の 技 能 ・ 表 現	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用する事を通して現代社会の地理的事象を追求する技能を身につけるとともに、追求した課程や結果を適切に表現する。	○課題学習の発表 ○レポートの内容 ○定期考査
知 識	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事項や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。	○定期考査 ○練習問題 ○授業プリント

令和3年度 「沖縄の歴史」 シラバス 2年生

校長 山城 聡 印

教頭 中村 幸弘 印

地理歴史科「沖縄の歴史」シラバス	単位数	2単位
	学年・学級	2学年 選択クラス

1. 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画

学期	主な単元	主な学習内容
1 学期	先史沖縄  古琉球	①旧石器時代の沖縄 ②沖縄貝塚時代  ①琉球王国の成立 ①琉球の大交易時代  中間考査 期末考査
2 学期	近世琉球  近代沖縄	①島津の侵入 ②島津侵入後の琉球 ③琉球処分  ①沖縄県政のはじめ ②十五年戦争と沖縄  中間考査 期末考査
3 学期	戦後沖縄	①米軍支配下の沖縄 ②日本復帰後の沖縄  期末考査

2. 確かな学力をつけるためのアドバイス

1. 学習したことについて、単に知識として記憶するのではなく、自信に結ぶつけて考えることが大切です。
2. 疑問に思ったこと、興味・関心を持ったことがあれば、質問したり、調べたりする姿勢が大切です。
3. ノートやプリントは板書を写すのではなく、疑問や考えを記入して、学習過程が把握できるようにしましょう。

### 3. 授業を受けるにあたって守って欲しいこと

1. 授業の開始時刻には、必要な教材・教具を準備して着席するなど、基本的なマナーを守りましょう。
2. 具体的な授業の内容については、描く学期に説明があります。良く聞いて授業に取り組んでください。

#### (2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする沖縄の歴史に関心と問題意識を高めているか。 意欲的に追求しようとするとともに国際社会に生きる国家・社会に一員として自己責任を果たそうとしているか。	・学習活動への参加の仕方及び態度 ・授業プリントの提出状況
思考・判断	近現代史を中心とする沖縄史の知識をもとに、人類の課題を多面的・多角的に考察しようとしているか。 国際社会の変化を踏まえ公正に判断しているか。	・レポートの内容 ・定期考査
技能・表現	諸資料を収集し、有用な情報を様々なメディアを通して収集しているか。 追求し、考察した家庭や結果を適切に表現しているか。	・定期テスト ・ワークシート・レポート ・單元ごとのプリント
知識・理解	近現代を理解するのに必要な基本的知識を身につけているか。	・定期テスト ・小テスト

令和3年度 「世界史A」 シラバス

校長 山城 聡 印

教頭 中村幸弘 印

地歴科「世界史A」	単位数	2 単位
シラバス	学年 ・ 学級	3 学年 全クラス (1 - 5 組)

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	近現代を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
使用教科書	「明解 世界史A」(帝国書院)

2. 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい・目標	備考	考査
第1学期	1部 諸地域世界と交流圏 1. 東アジア世界 2. 南アジア世界 3. イスラーム(西アジア)世界	5 6	1部 各地域の文明史を学び、多様な豊かな世界を知る。人類が長い間、自然条件によって区切られた地域世界内で文明を育んできたこと、その結果地域世界内では言語・宗教・思想・政治・経済及び生活様式などで一定のまとまりを持つようになったことを理解する。		期末考査
	2部 一体化に向かう世界 1. 大航海時代を迎えるヨーロッパ 2. ヨーロッパをアメリカの諸革命 3. 自由主義・国民主義の進展	7 8	2部 大航海時代以後に確立された西洋中心の世界システムの功罪について考察する。		
	[課題・提出物など] 課題学習の成果をとりまとめたレポート、授業プリントの提出。				
[第1学期の評価方法] 中間・期末考査、課題学習のレポート、授業プリント、学習への取り組み状況等を評価する。					
第2学期	4. アジア諸国の動揺 5. 東アジアの大変動	9	主権国家、国民国家の出現は、世界史上最も重要な出来事の一つであることを確認する。		中間考査
	第3部 現代世界と日本 1. 現代世界のめばえ 2. 第一次世界大戦がもたらしたもの 3. ”民族自決”を、求めて 4. 経済危機から第二次世界大戦へ	10 11 12	第3部 現代世界のめばえを欧米先進諸国における第2次産業革命と大衆社会の出現、帝国主義の形成、人口移動による世界の一体化を通して理解する。第一次世界大戦の原因、経過、総力戦としての性格、ロシア革命による史上初の社会主義国家の誕生をたどり、戦争と革命による新たな戦後国際秩序の形成を把握する。		
	[課題・提出物など] 課題学習の成果をとりまとめたレポート、授業プリントの提出。				
	[第2学期の評価方法] 中間・期末考査、授業プリント、ビデオ視聴プリント、学習への取り組み状況等を評価する。				

第 3 学 期	5. 第2次世界大戦 6. 冷たい戦争と国際社会の変化 7. 地球社会の到来	1 2	世界恐慌とファシズムの台頭、国際秩序の危機、第2次世界大戦の原因とその複合的性格を考察し、人類史上未曾有の戦争被害が現在まで多くの影響を及ぼしている問題を把握し、世界平和や人権の確立の意義を考える。 民主化問題や南北問題などの現代世界の課題を取り上げ、地域統合や多様なグループ・組織による協力と連携の活動のあり方、及び日本の役割と結びつけて考える。	学年 末考 査
	[課題・提出物など] 課題学習の成果をとりまとめたレポート、授業プリントの提出。			
	[第3学期の評価方法] 中間・期末考査、課題学習のレポート、授業プリント、学習への取り組み状況等を評価する。			
[年間の学習状況の評価方法] 1, 2, 3学期の成績を総合して年間の学習成績とします。				

確かな学力を身につけるためのアドバイス	過去を知り、過去から学ぶことが必要です。それによって現在を知り、現代社会のかかえる諸問題の解決を考えるヒントになるはずです。よりよい未来を切り開くために、生きた歴史を学びましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項 (提出物や持ち物などについて)	○授業はプリント(ノート)は、しっかりととりましょう。各学期にプリント(ノート)点検を行います。 ○課題レポートをしっかりとやりましょう。 ○まとめプリントを配布する。テーマごとにプリントを用意するので、早めに考査対策として利用して下さい。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に関心と問題意識を高めているか。 意欲的に追求しようとするとともに国際社会に生きる国家・社会に一員として責任自己を果たそうとしているか。	・学習活動への参加の仕方及び態度 ・授業プリントの提出状況
思考・判断	近現代史を中心とする世界史の知識をもとに、人類の課題を世界的視野に立って多面的・多角的に考察しようとしているか。 国際社会の変化を踏まえ公正に判断しているか。	・レポートの内容 ・定期考査
技能・表現	諸資料を収集し、有用な情報を様々なメディアを通して収集しているか。 追求し、考察した家庭や結果を適切に表現しているか。	・定期テスト ・ワークシート・レポート ・單元ごとのプリント
知識・理解	前近代について、諸地域世界の歴史的特質と交流の様相を把握しているか。 近現代を理解するのに必要な基本的知識を身につけているか。 近現代史を中心とする世界の歴史について、我が国の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付いているか。	・定期テスト ・小テスト

令和3年度 「沖縄の歴史」シラバス 3年生

校長 山城 聡 印

教頭 中村 幸弘 印

地理歴史科「沖縄の歴史」シラバス	単位数	2単位
	学年・学級	3学年 選択クラス

1. 学習計画及び評価の方法等

(1) 学習計画

学期	主な単元	主な学習内容
1 学期	先史沖縄  古琉球	①旧石器時代の沖縄 ②沖縄貝塚時代  ①琉球王国の成立 ①琉球の大交易時代  中間考査 期末考査
2 学期	近世琉球  近代沖縄	①島津の侵入 ②島津侵入後の琉球 ③琉球処分  ①沖縄県政のはじめ ②十五年戦争と沖縄  中間考査 期末考査
3 学期	戦後沖縄	①米軍支配下の沖縄 ②日本復帰後の沖縄  期末考査

2. 確かな学力をつけるためのアドバイス

1. 学習したことについて、単に知識として記憶するのではなく、自信に結ぶつけて考えることが大切です。
2. 疑問に思ったこと、興味・関心を持ったことがあれば、質問したり、調べたりする姿勢が大切です。
3. ノートやプリントは板書を写すのではなく、疑問や考えを記入して、学習過程が把握できるようにしましょう。

### 3. 授業を受けるにあたって守って欲しいこと

1. 授業の開始時刻には、必要な教材・教具を準備して着席するなど、基本的なマナーを守りましょう。
2. 具体的な授業の内容については、描く学期に説明があります。良く聞いて授業に取り組んでください。

#### (2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	近現代史を中心とする沖縄の歴史に関心と問題意識を高めているか。 意欲的に追求しようとするとともに国際社会に生きる国家・社会に一員として自己責任を果たそうとしているか。	・学習活動への参加の仕方及び態度 ・授業プリントの提出状況
思考・判断	近現代史を中心とする沖縄史の知識をもとに、人類の課題を多面的・多角的に考察しようとしているか。 国際社会の変化を踏まえ公正に判断しているか。	・レポートの内容 ・定期考査
技能・表現	諸資料を収集し、有用な情報を様々なメディアを通して収集しているか。 追求し、考察した家庭や結果を適切に表現しているか。	・定期テスト ・ワークシート・レポート ・単元ごとのプリント
知識・理解	近現代を理解するのに必要な基本的知識を身につけているか。	・定期テスト ・小テスト